

# 大樹町「ゼロカーボンシティ」宣言

～2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指して～

近年、世界中で異常気象が発生し、我が国においても、これまで経験したことのない集中豪雨や強大化した台風などにより、各地で甚大な被害が発生し、私たちの生活基盤を揺るがす事態となっています。

2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、「気温上昇を2度より、リスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素排出を実質ゼロにすることが必要」と示されました。

また、国においても、2020年10月に、「2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロ」が宣言されました。

こうした状況にあって、町が率先して地球温暖化対策の更なる推進に向けた決意を示すことで、町内における二酸化炭素の排出削減をより一層促進させていくとともに、国が目指す「経済と環境の好循環」にもつなげていく必要があります。

町は、地球環境に配慮した持続可能なまちづくりに取り組み、自然豊かな環境を次の世代へ引き継いでいくため、町民や地域、事業者の皆さまと一体となって、2050年までに大樹町の二酸化炭素排出を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指します。

令和3年12月6日

大樹町長 酒森 正人